

2007年8月号

No. 66

下大和田・小山町

谷津田だより

ちば環境情報センター・
谷津田プレーランドプロジェクト

TEL&FAX : 043-223-7807

E-mail:hello@ceic.info

http://www.ceic.info/

小山町では隣接する住宅地にある大椎小学校が今年から“学校田んぼ”をはじめました。石田校長先生からいただいた寄稿と6月25日の田植え報告を掲載します。学校田んぼの詳細は谷津田だよりの号外をご覧ください、

谷津田の自然に学ぶ

石田泰清(千葉市緑区大椎小学校校長)

昨年の本校五年生児童が谷津田プレーランドプロジェクトの高山さんのお声がけで、谷津田の自然生態系や古代米づくり等を学ぶ機会をつくっていただいたのをきっかけに始まったのが最初でした。

子どもたちと共に高山さんの谷津田のお話をお聞きしながら、これを機会に子どもたちが谷津田の自然を学びながら、米作り体験学習ができればどんなにいいだろうかという思いを高山さんに伝えました。

この願いが叶い、本年度になって、高山さんや橋本さん、斉藤さんのご協力を得て、五年生が社会科で学ぶ日本の農業や理科で学ぶ植物の育ち方、そしてその教科学習の基礎の上に立って、総合学習としての米作りの体験学習を通して、人間と自然との共生を考えたり、米作りの苦勞と収穫の喜びを直に体験したりする学習を計画することができるようになりました。有り難いことです。

今、子どもたちにとって必要なことの一つは、知識としての文化ではなく、体験を通した生きた学習から理解する知恵です。本校学区内にこうしたことを学ぶことができる貴重な自然環境と協力を惜しまない地域の方々がいらっしゃることは素晴らしいことです。

谷津田の自然観察から始まるこの学習。田植え、稲の花の観察、田んぼの生き物観察、雑草取り、稲刈り、収穫、調理実習、わら細工作り、そして十二月の学習のまとめと続く学習活動のどれ一つとっても、子どもたちだけでは困難なことばかりですが、幸いにして多くの保護者の皆さんの援助もあります。自然豊かな谷津田と谷津田プレーランドプロジェクトの皆さんのご理解とご支援のもとで、子どもたちにとってかけがえのない貴重な体験学習となることと思います。



谷津田初体験 - 大椎小学校田植え報告 -

松下 恵美子(千葉市緑区)

田んぼのスペースも限られているため、はじめに田植えをするクラス、はじめに自然観察をするクラスと2手に分かれました。観察会ではネイチャービンゴと題したカエルやトンボ、ホトトギス、ホタルブクロなど今の季節に見られる生物の表を片手に谷津の広場で1時間を過ごす予定にしていました。

本来、6月22日(金)に予定していたのですが、雨で順延、今日も霧雨が降っており、トンボ類や鳥類の姿はほとんど確認できませんでした。また、順延での急な日程のため、生き物に詳しいスタッフも参加できず、有意義に観察できるか不安でした。しかし、そんな不安もなんのその。谷津田初体験という子どもも多く、カエルが飛びはねる草むらにただで大はしゃぎ。表にある生き物を探したいと、子どもたちは一生懸命に草むらや水路に目をこらし、自分たちで観察会を始めていました。

すると、水路の壁にへばりついたオニヤンマのヤゴや、大きなサワガニを発見。さすが、子どもの目はすごい。落ち葉の中にあるゴミムシや小さなバッタなどを見つけたりと、生き物を探すコツもわかっています。表の1つにあったニホンアカガエルをやっとつかまえた、手に大事そうにのせて見せてくれた子もいました。あっという間の1時間でした。

クラスが入れかわり、前半、田植えをした子どもたちもサワガニを見たいと別の水路で目をこらして探し、オニヤンマのヤゴと小さなサワガニを見つけることができました。また、草むらにひそんでいたヒバカリらしきヘビもみつけ、エサだといってカエルをさし出したりとそれぞれが生きものとの出会いを楽しんでいました。

カエルが苦手、生きものはちょっと・・・という子どもも数人いましたが、嫌がることもなく、カエルの足は何本あるか、吸盤はあるかなど、じっくり観察したり、くわの実を味わったり、ドクダミの葉のにおいをかいだりとさまざまに体感していました。

誰かに教え、教えられるというのではなく、先生方も、つきそいに来てくださった父兄の方々も、子どもたちも、みなで生きものや草花を探し、谷津田でのひとときを過ごすことができました。

今日をきっかけに谷津田や、米作りが好きになってもらえることを心から願います。



里山たんけんレポート

第 90 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2007年7月1日(日) くもり

谷津ではモズ、オオヨシキリ、が盛んに鳴き、杉の天辺ではホオジロが囀り、ときどきホトトギスの声も聞こえました。いきものの季節で、たくさんのいきものに出会いました。あまりたくさん出会ったので、いつものコース半分ほどで12時を過ぎてしまうほどでした。歩く道すがらノシメトンボだらけ、他のアカトンボの仲間はどうしたのでしょうか。田んぼではアジアイトトンボやシオカラトンボが元気でした。林縁の下草にはシュレーゲルオアガエルの仔がたくさん取り付いていました。ゴマダラオトシブミがあちこちで揺籃を作っていて作業中のものも観察できました。カブトムシやタマムシも出始めました。今回も道端に園芸植物の逃げ出しと思われる花が咲いていたり、ウシガエルが鳴いていたのが気になりました。ゴミ袋をずっと持ち歩いたのですが今日はひとつもゴミの収穫がありませんでした。嬉しいことでした。

(参加者 大人6名,小学生2名; 報告:網代春男)

第 74 回 下大和田 YPP「田んぼの生きものとあそぼう！」 2007年7月21日(土) くもり

今回は、エルコープの谷津田自然体験会の参加者が合流してのイベントになりました。

午前中は、2グループに分かれて自然観察とザリガニつりを体験。午後は、ネーチャークラフト(ミニ竹とんぼ、竹笛)、水鉄砲、クモ合戦、環境まんが、顕微鏡



カブトムシを手につくりに

水路にはメダカがいっぱい

による田んぼのプランクトン観察など谷津田の生きものと自然にふれあいました。

特にクヌギやヤナギに鈴なりのカブトムシこどもたちはびっくり。日常では体験できない谷津田の自然を満喫しました。

詳細についてはニュースレター本文で平沼勝男さんと石橋紘吉さんの報告がありますのでご覧ください。



(参加者 大人30名 幼児4名 小学生17名; 報告:田中正彦)

7月15日に予定されていた小山町の自然観察会は台風の風雨のため中止となりました。

谷津田・季節のたより

下大和田

7月8日(日) ノシメトンボ、マユタテアカネ、ナツアカネ、オオシオカラトンボが羽化(高山)。

7月21日(土) クヌギでカブトムシが交尾(田中)

7月23日(月) すでにコシヒカリが開花(田中)

8月2日(木) キイトンボやオオイトンボを確認(網代)

小山町

7月7日(土) アキノタムラソウ、チダケサシ、セリが咲く。ナツアカネ、オオシオカラトンボの羽化(高山)。

7月15日(日) 大型の台風4号が日本を直撃、学校田んぼでは子どもたちが植えた苗はまだ小さいながらもしっかりと立っていてほっとしました。地元の方がこまめにお水を調整してくださっているお蔭で、大量の雨にもかかわらず田んぼは無事でした。台風一過の空にコシアキトンボがたくさん飛んでいました(木山)。

7月16日(月) 真っ赤に色づいたショウジョウトンボが田んぼで縄張りをはる。セリに秋齢と思われるキアゲハの幼虫。地元農家の方の田んぼでコシヒカリが出穂(高山)。

7月18日(水) アザミ谷でハンゲショウやヤマユリ、ゴウシ谷ではコバノカモメヅルが咲いていた(齊藤)。



谷津田いきもの図鑑 No.8 「ナツアカネ・アキアカネ・ノシメトンボ」(赤とんぼ)

夕焼けこやけの赤とんぼ～ 日本人にとって秋の風物詩である赤とんぼが実は田んぼから生まれることは意外と知られていません。イネがぐんぐん生長する6月ごろに羽化したトンボはまだ黄色い体をしていてすぐに水辺から離れてしまうので目立ちませんが秋になると赤く色づいて産卵のために田んぼに戻ってきます。赤とんぼといってもいろいろな種類がいてその代表はナツアカネとアキアカネです。一見とてもよく似ているのですがいくつか違いがあって見分け方の決め手は胸にあ



アキアカネ

ナツアカネ

アキアカネとナツアカネはとてもよく似ています。見分け方のポイントは胸の中央の黒いスジ。先がとがっていればアキアカネ、急に途切れていればナツアカネです。



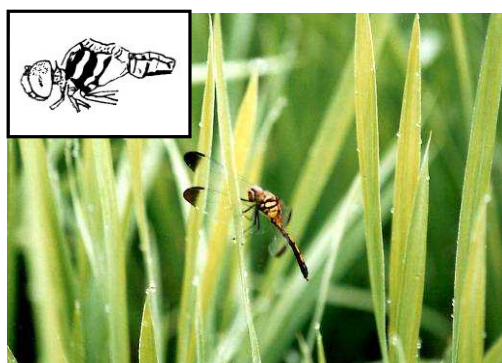
ナツアカネ (撮影 網代春男)

る黒いすじの形です。秋に顔まで真っ赤なトンボを見つけたらそれはナツアカネです。アキアカネは夏の間、標高 1000m を超える高地に移動しますが(千葉では半島南部の山でも非避暑しているようです)、ナツアカネは谷津の林の周辺に留まってひっそり暮らしています。



アキアカネ (撮影 網代春男)

産卵の仕方も違ってナツアカネは稲刈り前の田んぼの上から卵をばらまく(のに対してアキアカネは稲刈り後の田んぼの水たまりに腹を打ち付けて産卵します。



ノシメトンボ (撮影 高山)

胸に目立つスジがあるもう1種類の赤とんぼにノシメトンボがいます。アカネの仲間よりも大型で羽の先がこげ茶色なこと(アキアカネもナツアカネも羽の先端に点があるだけ)、胸の3本のスジが太くてとてもはっきりしていることで簡単に見分けられます。秋になってもきれいな赤い色にはなりません。下大和田や小山ではよく似たコノシメトンボがいますが数はとても少ないです(ノシメトンボより小型で胸のスジの後ろ側2本がつながっている)。

赤とんぼの減少が各地で伝えられています。ノシメトンボは数が増えている。圃場整備された田んぼでもよく見かける強いトンボのようです。問題はアカネの仲間、特にアキアカネの数が減っているのは農薬や乾田化の影響を受けやすいせいでしょうか。古くから詩歌に詠われてきた赤とんぼを何とか守っていききたいものです。

(高山邦明)

「小山谷津(谷津田等の保全区域)」の看板設置

千葉市は平成 17 年、18 年に専門家の協力を得て小山町の生態系調査を行ないました。4回にわたり鳥類、動植物、両生類の調査が実施され、指導を受けながら YPP の仲間が同行しました。調査の結果すばらしい自然環境が残されていることがデータの上からもはっきり確認できたので、谷津田全体を守ろうということになり、昨年 4 月に小山の地主さんと千葉市が協定を締結し、8 月 22 日公告で保全区域の指定を周知しました。豊かな湧水に生まれ、たくさんの野鳥、動植物が生息している小山町アザミ谷に去る 7 月 18 日看板が設置され、立ち会うことが出来ました。看板の裏面には協定を締結した区域の地図も貼ってありますので、散策の折にでも是非ご覧ください。(齊藤 薫)



イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPP のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも)： ちば環境情報センター (TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/)

ご注意： ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

第 75 回 下大和田 YPP「田んぼの守り神、かかしを作ろう！」

モミがぐんぐんふくらみ稲穂が垂れ始める季節です。稲刈りまでお米を守ってくれるかかしを作ります。家族で、お友だちどうして、はじめてのグループでどんなかかしができるかな？

恒例のモミの数をかぞえての収穫量しらべもします。

日 時： 2007 年 8 月 25 日 (土) 10:00 ~ 14:00 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田 (ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集 合： 中野操車場バス停に 10:00 (JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで 45 分<千葉駅発 8:53、9:08、9:23 など> 料金は 520 円)

持ち物： もしあればかかしに着せる古着、長靴、帽子、軍手、弁当、飲み物 (暑いのでたっぷり)、敷物など。

参加費： 300 円 (資料代など)

主 催： ちば環境情報センター 共 催： ちば・谷津田フォーラム

第 25 回 小山町 YPP「かかしづくり」

みんなで植えた古代米に穂が付き始める頃です。田んぼを守ってくれるかかしを作しましょう。

日 時： 2007 年 9 月 1 日 (土) 10:00 ~ 12:30 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場

持ち物： もしあればかかしに着せる古着、軍手、飲み物 (暑いのでたっぷり)

参加費： 100 円 (資料代など)

第 92 回 下大和田 9 月の谷津田観察会とごみ拾い

秋の花が咲き出しました。秋の気配を感じ取りながら、散策しましょう。

日 時： 2007 年 9 月 2 日 (日) 10:00 ~ 14:00 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田 (同上)

集 合： 中野操車場バス停に 10:00 (同上)

持ち物： 筆記用具、弁当、飲み物 (暑いのでたっぷり)、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋など

参加費： 300 円 (資料代など)

主 催： ちば・谷津田フォーラム 共 催： ちば環境情報センター



イラスト：松下優子

編集後記 いよいよ夏本番です。でも、虫かごや網を持ってセミやカブトムシ、ザリガニを探す子どもの姿がめっきり少なくなっているのが残念です。自然の中に身を置けば子どもたちの眼は輝き何も教えなくても勝手に遊びはじめます。生きものいっぱいの谷津でぜひ夏休みの楽しい思い出を作して下さい。往年の昆虫少年・少女のお父さん、お母さんが一緒に出かけたら尊敬されること間違いありませんよ！ (高山邦明)